

理工系学生の就活を成功するには

就職準備セミナー

NPO日本アクティブキャリア開発
田中良一

キャリア講座

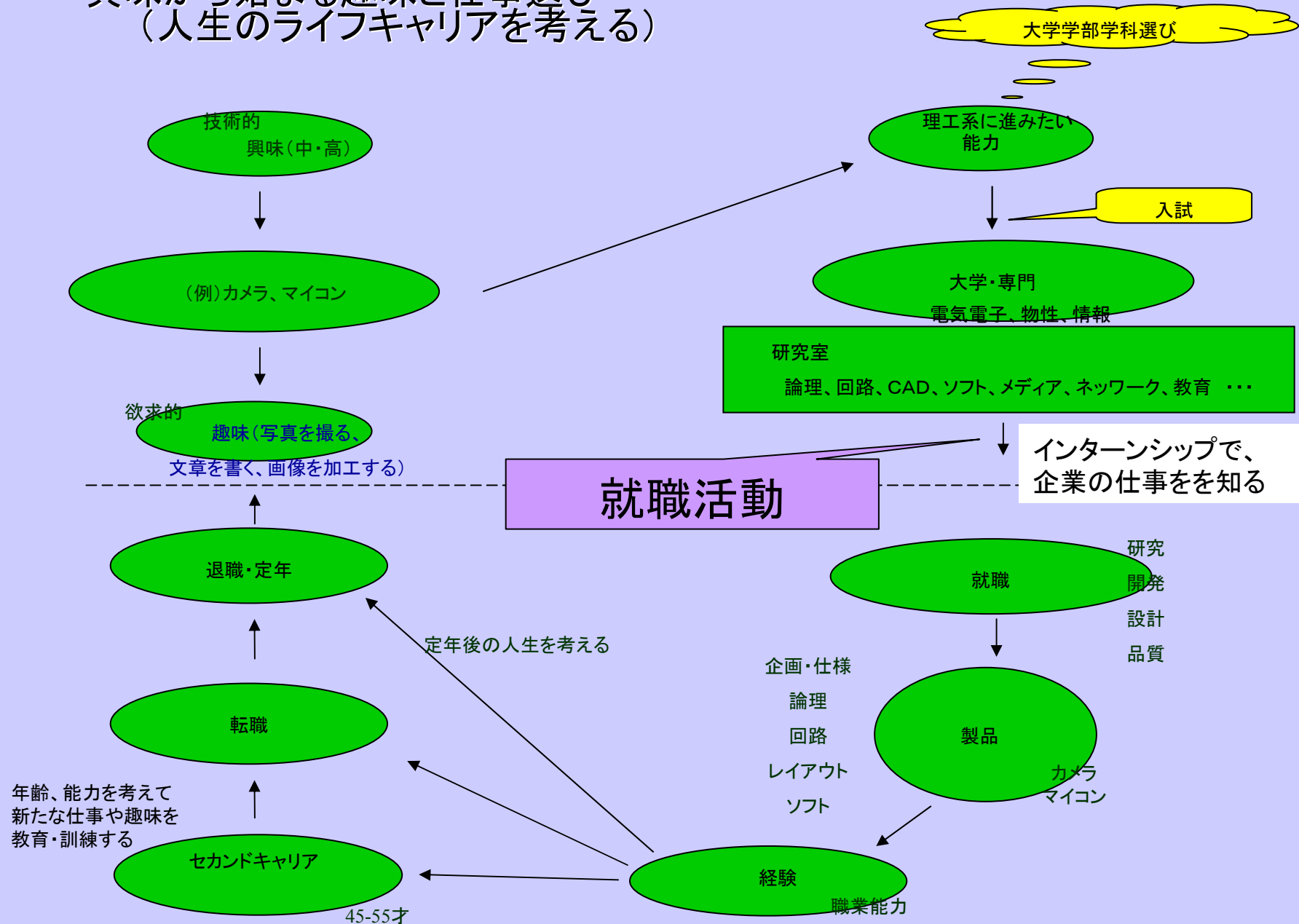
—就活を成功させるには—

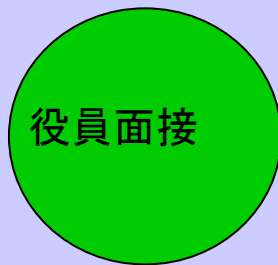
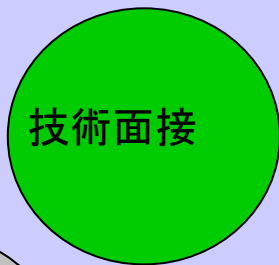
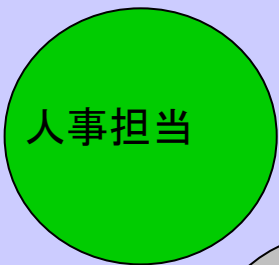
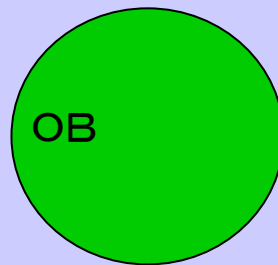
- 1) キャリア形成支援（自己理解）
- 2) 仕事選び
- 3) 会社探しのアドバイス
- 4) 企業の母集団形成
- 5) 応募から面接
内々定を取るためには

キャリア形成支援（自己理解）

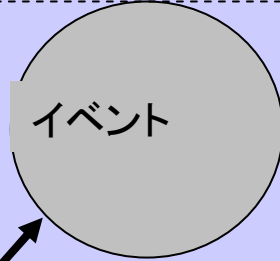
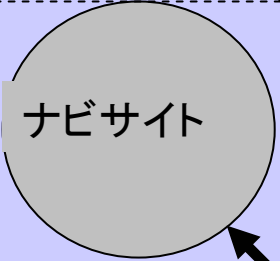
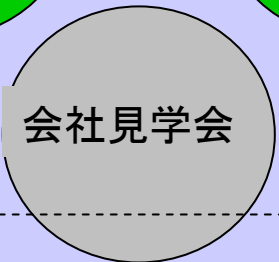
誰かが早く必要な事をアドバイスする

興味から始まる趣味と仕事選び (人生のライフキャリアを考える)

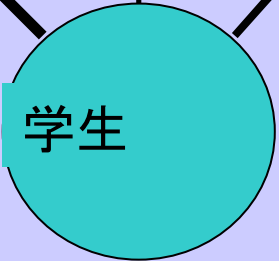
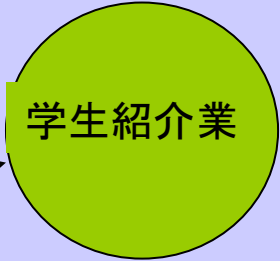
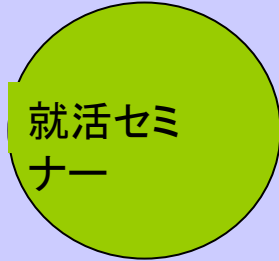




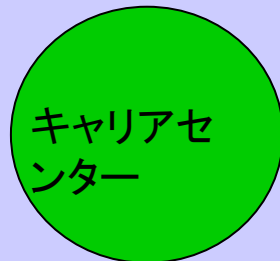
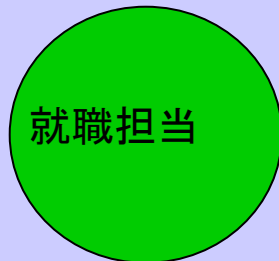
自分で決める



紹介してもらう



押されて決める



理工系学生のキャリア形成は、

- 4年生からは研究室の教授ほか数人の職員が側にいて、何らかの関わりを持つ。
—昔の話かも—
- 同期との付き合い
- クラブの仲間
- 地元の仲間
- アルバイト先

理工系学科のキャリア支援状況

- 先生のキャリア形成支援が少ない。
- 就職は、学生の意思決定を尊重
- 卒業研究室の教授と学生の間関係
- 共同研究やインターンシップから就職
(先生の間接的支援が少ない)
- 就職相談室に理工系学生は行かない。
- 外部キャリア講座に理工系学生が増えている。
自分に必要と思われる履歴書の書き方、エントリーシートの書き方、模擬面接などがあれば、参加する。

仕事選び

仕事理解

- 労働市場

大学生の就職は、職種や職業を選ばなければ、何とかなる。

- 仕事・職業選び

自分の学科にあった業種にチャレンジする。

研究室にあった分野や職種を希望する。

理工系の就職先

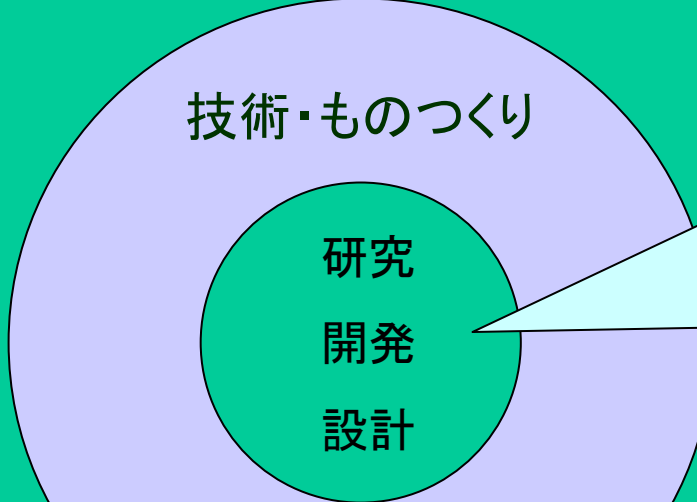
研究、開発、設計、技術、品質管理、生産管理、営業技術

理工系学生の仕事選びの傾向

情報系以外の学生もSE・ソフトを希望している
基本は、大学で、応用は企業になっている事を理解する

- ビジネスソフト
- 制御ソフト
- ゲームソフト
- ドライバーソフト

- 電気
- 半導体
- 機械
- 自動車
- 精密
- 航空宇宙
- 医療
- 造船



SEになる為、現場経験を要する

業界セミナー（企業合同説明会）

大学：企業研究

企業：会社説明

- キャリア形成として、キャリア支援プログラムの最終が企業研究である。
- 就職部と学科就職担当教授の連携が必要だ！！

会社探しのアドバイス

理工系学生にとって、就職先を選ばなければ、内々定
できる求人数があります。

※事例 会社に入ったら

- ・中卒高卒が多い時代は、現場に親分肌の先輩が、面倒を見てくれた

上司と部下の仕事関係・人間関係（仕事を任せた）

- ・上司は、仕事の進捗の報告を待っている
- ・部下は、まかされたからがんばっている

問題

- ・上司も部下も思い込みがある

解決策

- ・どのくらい指導し、どのくらいではげますかのバランス
- ・上司が、自然に面談をする。

他人の成功例

- ・本の理論、体験通りにできれば、みんな幸せになる。（参考にする）
- ・世の中は、変化している。
いつも同じ体験や経験が当てはまる事はない。

自分のキャリア・ライフ・デザインを考えよう。

少し考えよう

※自分が行動した結果、情報を得る

- ・調査は、できるがまとめる事をしない
- ・情報をもらっても判断しない

※課題を分析する

- ・課題の解き方を教えてもらう
- ・解き方をそのまま写している
- ・その結果も教えてもらう

これでいいのでしょうか・・・

就職支援情報検索サイト

自由応募形式として、エントリーから内々定連絡まで出きる。

代表的な大手就職支援サイト

リクナビ

マイナビ

enJapan

学情ナビ

日経ナビ

中堅サイトもある

シグマブレーン 理系@ナビ

メディア総研

就職相談について

- 自分に適した会社・職業を見つけられるアドバイスをする。
- 自己分析と自己理解や仕事理解が出来るようにサポートをする。
- 就職は、自分で意思決定する事から始まる人生行路なんだと知ってもらおうサポートをする。

企業の母集団形成

企業は、良い面をアピールしている。
しかし、中堅・中小企業・ベンチャー企業に人が集まらない。

売り手、買い手の市場であってもキャリア形成を考える事が重要になる。なぜなら若年者が、短期間で離職する割合がふえている。

※高校生の傾向は、安・近・短

- ・安定した
- ・通勤が近い
- ・直ぐ内定を出す

※就職それとも就社ですか

- ・職種で選ぶ
- ・会社で選ぶ

- ・理工系は、企業とのつながりを大事にする伝統があるが、大手企業の分社で、専門会社化している。
- ・企業は、見学説明会を多く実施している。

情報を集める行動をする

※相性が悪い、自分に向いていないでは、解決しない

- ・職業・職種だけで、決めず良く調べることが必要

※上司が資料を読んどけと言ったから読んだ

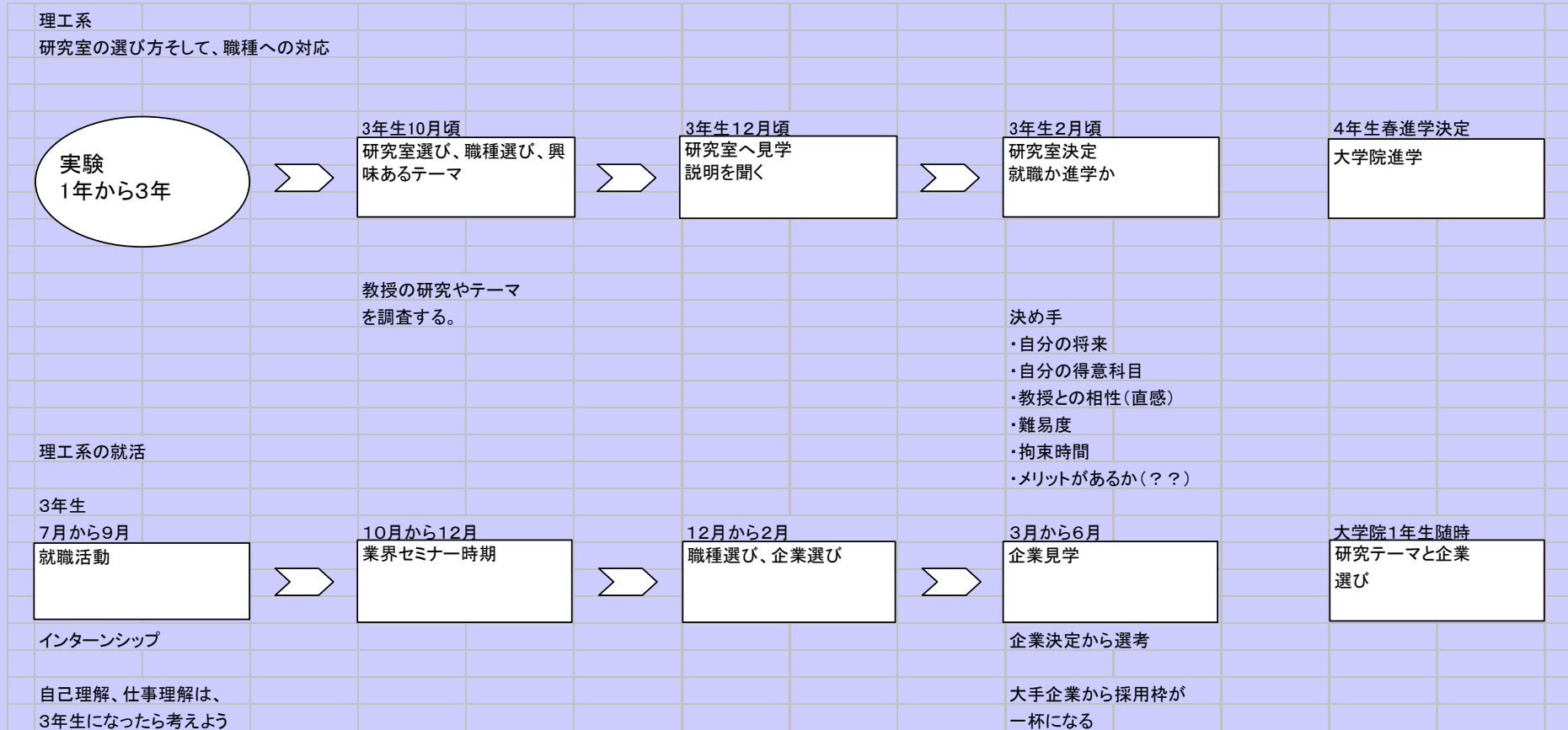
- ・裏を知れ

一歩踏み出して、提案書や企画書を書いてみた。

※答えのない問いにぶつかった時

- ・電球が切れたから取り替えるのも必要だが、電球がどうして切れたか調査する。

応募から面接



就職活動フロー

学生

3年生からのキャリアスケジュール
理工系学生は、文系のように学業と職業が広くない。
学科を決めた時点で、職種が決められる。

自己理解／職業理解

3年生になったら考える

研究室選びと職業選びがかさなるとい
いかも

啓発的経験
インターンシップ

3年生の夏／冬休み中
8月から9月

学生の3割程度が、参加
リクルート社様の就職白書から

※全国学生約60万人中約5万人がイ
ンターンシップ経験(8%)

職業選択
業界研究／セミナー

自分を見つめ適性や興味、能力を知ろう。
職種は、10月から2月に決めよう

自分の能力にあった、やりたい仕事を
決める時期かも

意思決定
会社選び／会社見学

期末試験が終わったら会社見学に行き応募先を決め
よう。
3月から4月に決めよう

試験対策も必要な
エントリー、履歴書、論文対策
(書いたことは、説明できるように)

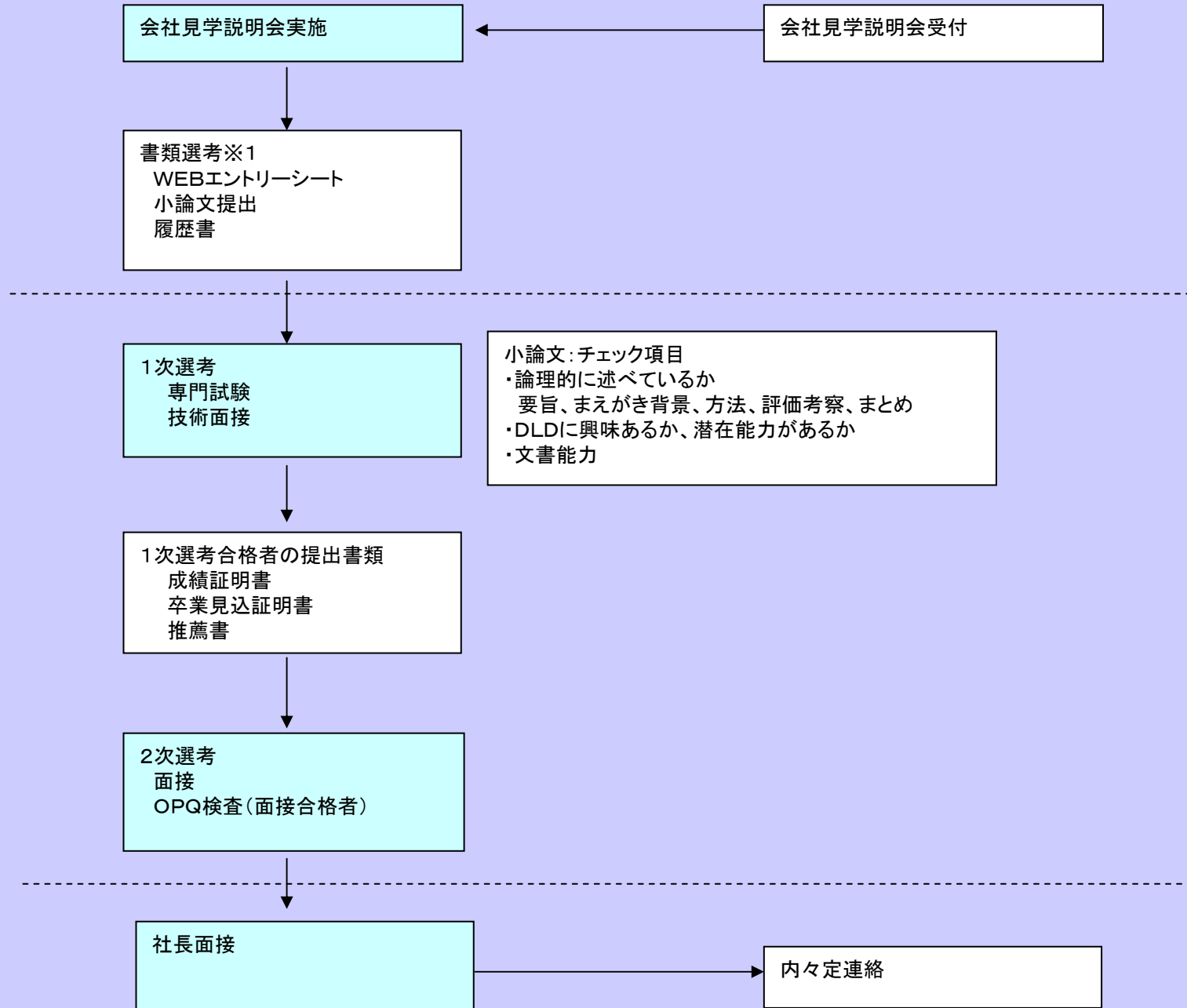
就職
応募／選考

4年生の4月から6月に応募先を選考しよう

筆記／面接
面接は、企業特性と自分がやれる
事の裏づけを明確に

入社

入社までに卒業研究や会社の業務に必要な
基礎知識を勉強しよう



就職しても辞めるのはなぜ

文科系が、就職して、数ヶ月から3年で、辞めて行く。
理工系も3年以内で辞める人が増えている。

企画やサービスの希望者が増えている。

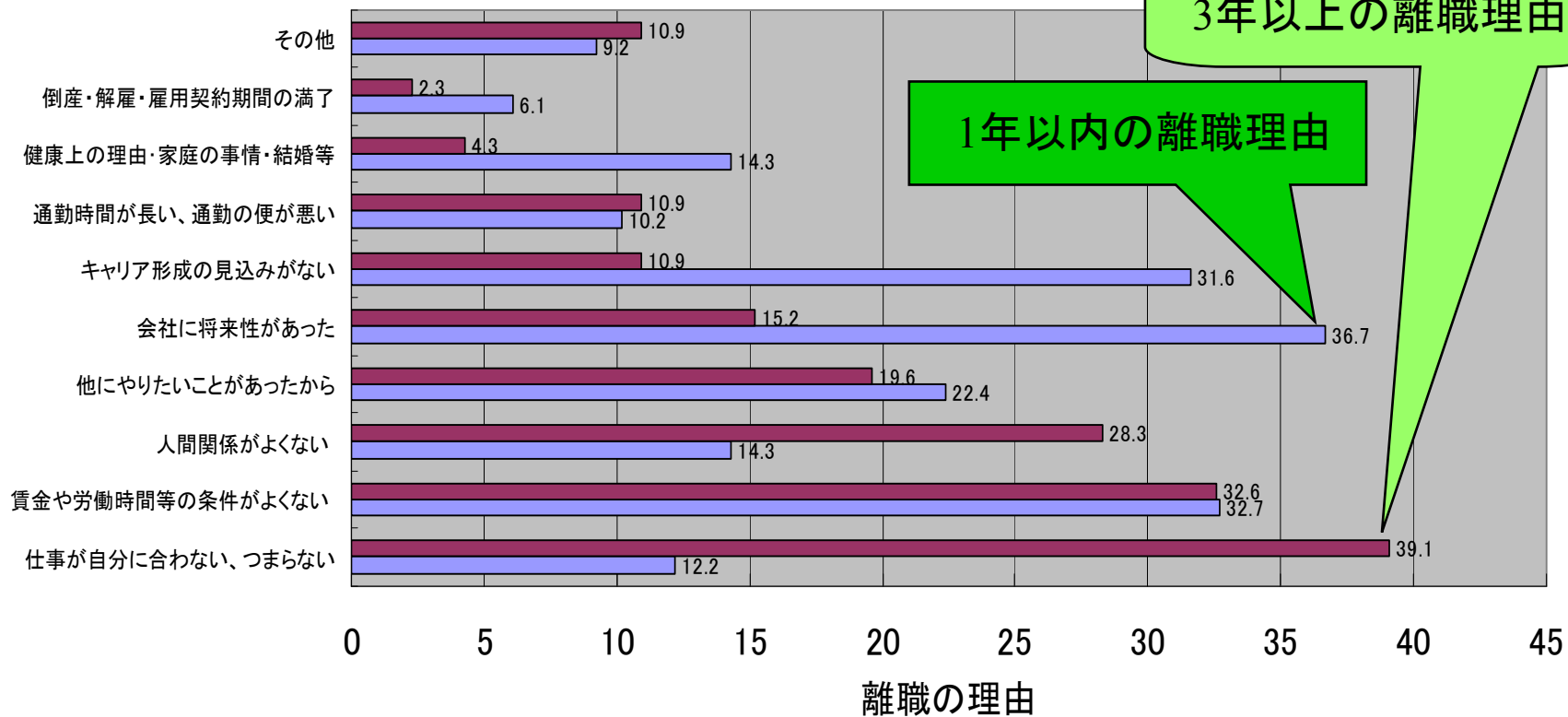
(ものづくり系に就職したくない)

企画やサービスは、かたずくきれめがない
人事や製造は、かたずくきれめがある

- ・相談する先輩やOBが側に居ればかわるかもしれない。
- ・他人の成功例など、理論通りにできれば、みんな幸せになる。
- ・世の中は、いつも変化している。
同じ体験や経験が通用するとは限らない。
今はない専門職：裁縫→東南アジア
和文タイプ→パソコン

離職率と理由(1年目と3年目以上)

離職の割合



1年以内の離職理由

3年以上の離職理由

■ 1年以内 ■ 3年を超える

自己分析

- アセスメント（検査）
（興味、能力、価値観、適性、性格を
明確にする）
- 能力のたな卸し
（自分ができるシートを作成：資格、知識、
特技などできる事すべて書き出して見よ
う）

エントリーシート（自由応募に多い）

応募の多い企業が有効的な選考方法

1000人を超えるエントリーがある企業

- ・採用担当者が応募者全員と面接することは物理的に困難
- ・ふるい分けに勝ち残った学生だけが、2次選考や面接を受ける権利得る。

エントリーシートで、何を見るのか

- ・潜在的職務遂行能力があるか
- ・職業社会で働く準備ができているか、意欲は充分か

エントリーシートの作成例

もっと具体的に書く

自己PR: これってどうなってるのだろう?と疑問を持つとつい調べてしまう、探究心のある性格です。

パソコンの中身は、どのような仕組みになっているのだろう。思い立ったら直ぐに分解して調べる

音楽を聴く事が好きで、きっかけで、スピーカーからなぜ音が出るのか興味を持ちました。自らスピーカ製作キットを購入し、スピーカーの原理、構造を目で見ることができました。

特に音のでる仕組みに興味を持ち調べようともしました。

この好奇心旺盛な性格を生かして将来の仕事の幅を広げていきたいです。

志望動機: 大学では電気回路、電子回路、デジタル回路の基礎を講義で学びました。中でもそのあとに履修した、半導体物性は私にとって興味のあることでした。しかしLSI設計は経験したことがありません。父親が技術者であったため、小さい頃から「もの作り」に興味がありました。もの作りのなかでも、なくてはならないものである半導体には非常に魅力を感じていました。ぜひLSI設計の仕事をしてみたいと思い志望させていただきました。

自己紹介: 私の長所は忍耐力が強い所です。これは部活動がきっかけです。試合をする場合、苦しい時でも自分に我慢しろと言い聞かします。その結果、やり遂げた後に達成感があるため頑張ることができます。

当社で、何ができますか: ゼミでLSI設計をしています。実際にゲート長 0.6μ プロセスで、6月に作製する予定です。しかし自分はまだまだ知識も足りず、何ができるのか分かりませんが、精一杯努力していきたいと思います。

志望動機: 半導体という分野が私たちの身の回りを便利化していったことに対して、非常に興味を持ちました。

技術面接

人材開発・人事は、文科系。

採用企画、選考準備がメイン業務。

- * 仕事は、会社説明会、1次選考
エントリーシートのチェック。
SPI、グループ討論会(テーマを決め発表)
- * 大学就職部に行く、先生に会う。
自社のPRと求人依頼がメイン業務。

2次、3次の技術面接は、技術、開発、研究の部課長
クラス以上が対応している。

最終面接は、社長役員が対応する。

不採用事例

自由応募の選考事例（グループディスカッション）

理工系、文系問わず実施（学生8名）

テーマ：「3年前後に会社を辞める者が、多い理由」
を討議しなさい。

合否の判定

自己理解／仕事理解をしているか

社会人としての適性があるか

職業のマッチング（役割、性格等々）は取れているか

結果

能力やスキルのたな卸しをして、自己分析ができていない。

言いたい事が、話せない → 1次選考NG(不採用)

どうして内定が決まらないのか

応募企業と自分が学んだ事が違う分野を考えている。

居酒屋で、アルバイトの店長補佐役をしていた。

アルバイト先の居酒屋チェーンに応募

応募したが面接で、不採用

(本人は、フロアーを希望していなかった。)

同じ条件であれば、文系の学生を採用する。

(自己理解や仕事理解をしていない。)

職種をきめられない学生事例

全ての応募企業に不採になった学生

思い込みが激しい

自己中心で、話しをする

質問を理解できない

推薦応募で不採用になる理由を分析

言葉が出ない、話せない

仕事につながる勉強を理解していない。

(専門科目や実験がどんな仕事に関連するか)

卒業研究と応募会社の関連付けができてない。

学生は、なぜ卒業研究を決めたかが重要！！

- ・ 大学2年3年の実験で、この研究に興味を持った。
- ・ 高校生の時、製品を分解してその仕事に興味をもった。

正直者は、損をする。

質問の答えを全て語る学生が多い

- ・ 何社応募したのか、選考したか
- ・ どのような分野を主に応募したか
- ・ この時期まで、何をしていたか

—君は、どう回答するのかな—

内定をとる人、とれない人の分岐点

理工系の内々定も3月から5月で決まりだ
(景気低迷期は、じっくり自分の進路を考えても遅くはない。

なぜなら景気悪くて、希望する職種が少なかったと言える)

自分が入りたい企業を早く決める事だ！

団塊世代の定年退社と重なり、就職口は、多い。

大手グループ企業、中堅・中小企業の採用意欲は、景気変動に関わらず人材獲得に力を入れる。

面接5つのポイント

- 学科を決めたキッカケは、何！！
中学生か高校生の時に、その学科に入りたい何かがあったはず。
- 学生実験と希望した卒業研究、仕事のマッチングは取れているのか。
研究室を決めたきっかけは何
(卒研内容が分からない時、知らないではまずいよね)
- 自分が希望する仕事について説明できるか。
- エントリーシートや履歴書の内容は、ちゃんと話せる。
- 学生は、あまりアルバイトの事を話さない方がいい。
理工系は、毎日アルバイトできないよね

技術者の面接合否の分かれ道（個人的見解です）

- 1、努力型で、少し硬いが、会社に尽くしそうな学生
- 2、能力は、程ほどであり、クラブにも力を入れている学生
- 3、一般的な話ができ、自分を知っている学生
－知識力や適応力がある－
- 4、学業は、優秀だが、自分を表現できない学生
- 5、学力不足で、調子の良い学生

ご清聴ありがとうございます

もっとキャリア情報を知りたいのであれば以下のWebサイトにどうぞ

<http://www.j-acd.org/it-salon/e-learning/career2/pwmgr/gate/gate.cgi>

ID／パスワード: guest/guest

制作協力：NPO日本アクティブキャリア開発

ホームページ：<http://www.j-acd.org>

メール：tanaka@j-acd.org